

◆ 今週のコメント

- ・ **デング熱**の報告が、1例(女性, 30歳代)あります。本年の累積報告数は3例です。症状は発熱, 全身の筋肉痛, 骨関節痛, 発疹, 血小板減少, 白血球減少, 腹水です。推定感染地域は国外(ブラジル)です。
- ・ **A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**の定点当たり報告数は1.66(68例)で, 第26週(2.20)より減少しました。しかし, 過去5年平均値の2倍以上となっており, 多い状態が続いています。年齢階級別では6箇月以上で報告があり, 5歳が12例(17.6%)と最も多く, 次いで6歳10例(14.7%)となっており, 2歳から6歳までで60.3%を占めています。

◆ 今週のトピックス: <ヘルパンギーナ>

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は1.54と2週連続で増加しており, 全国でも増加しています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類: 結核1例(肺結核1例, その他結核2例, 潜在性結核感染者8例)うち喀痰塗抹陽性なし
【1月以降の累積報告数237例(肺結核93例, その他結核49例, 潜在性結核感染者95例)うち喀痰塗抹陽性51例】
- ・ 四類: デング熱1例【1月以降の累積報告数3例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	3.95	162
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.66	68
	③ ヘルパンギーナ	1.54	63
	④ 水痘	0.85	35
	⑤ 突発性発しん	0.46	19
眼科	流行性角結膜炎	0.30	3

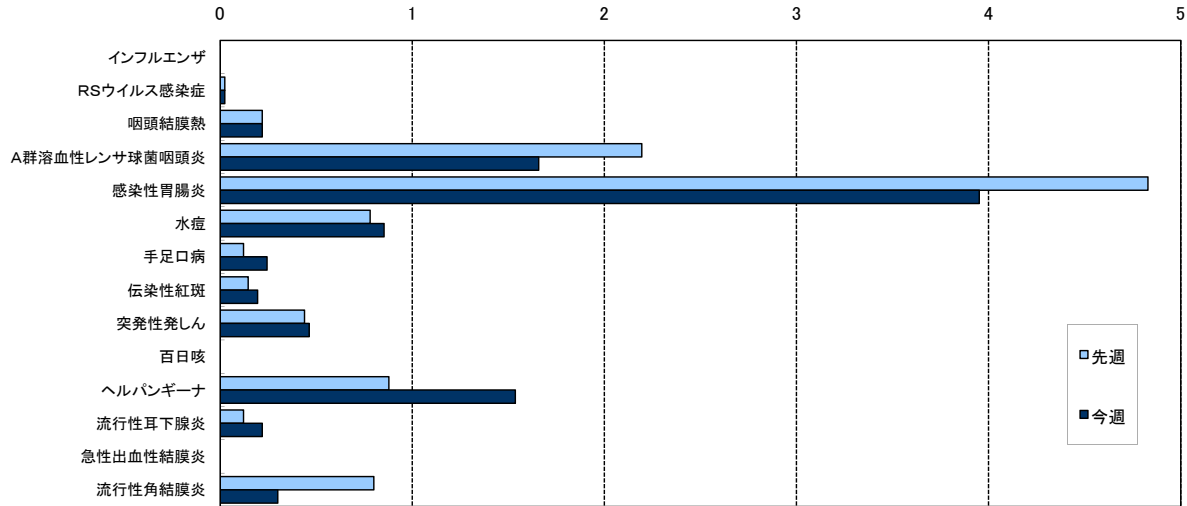
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <ヘルパンギーナ>

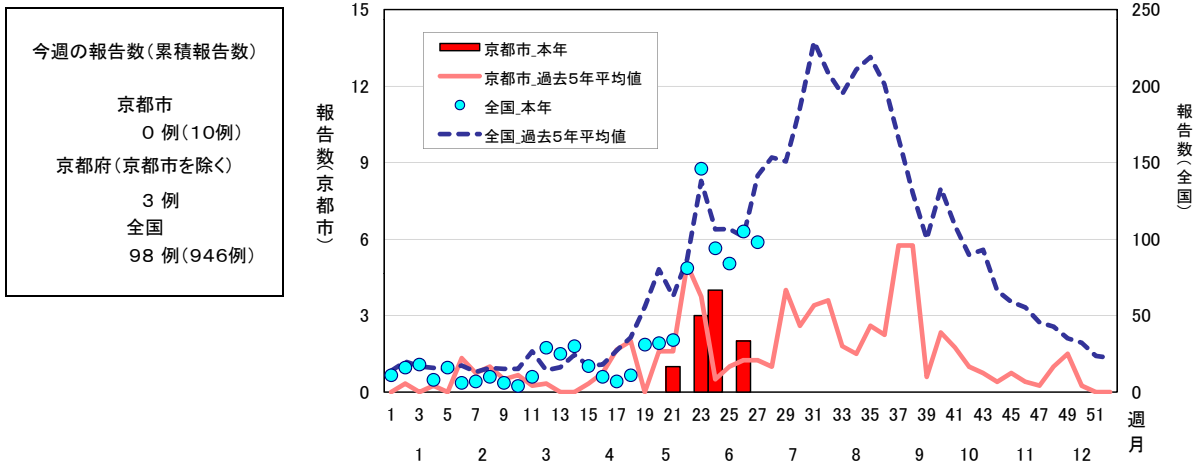
(注) 京都市のデータは, 平成24年7月12日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第27週)と先週(第26週)の定点当たり報告数の比較

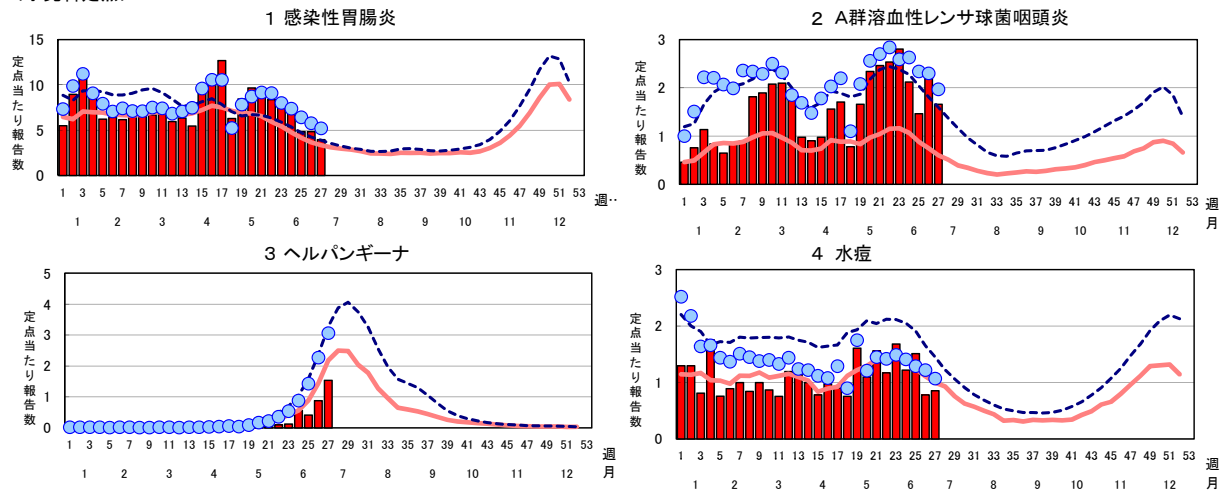


2 腸管出血性大腸菌感染症の推移

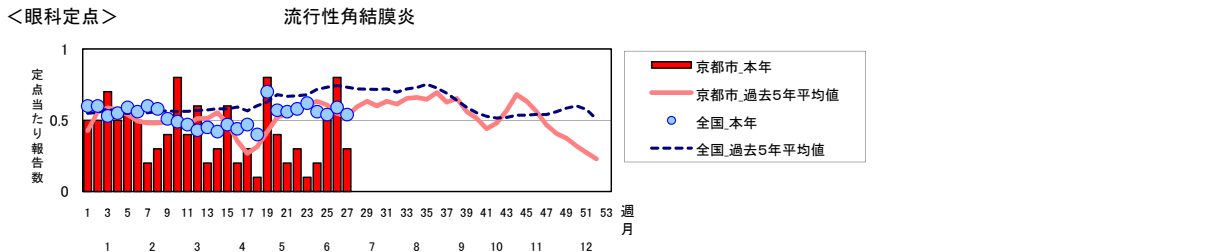


3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



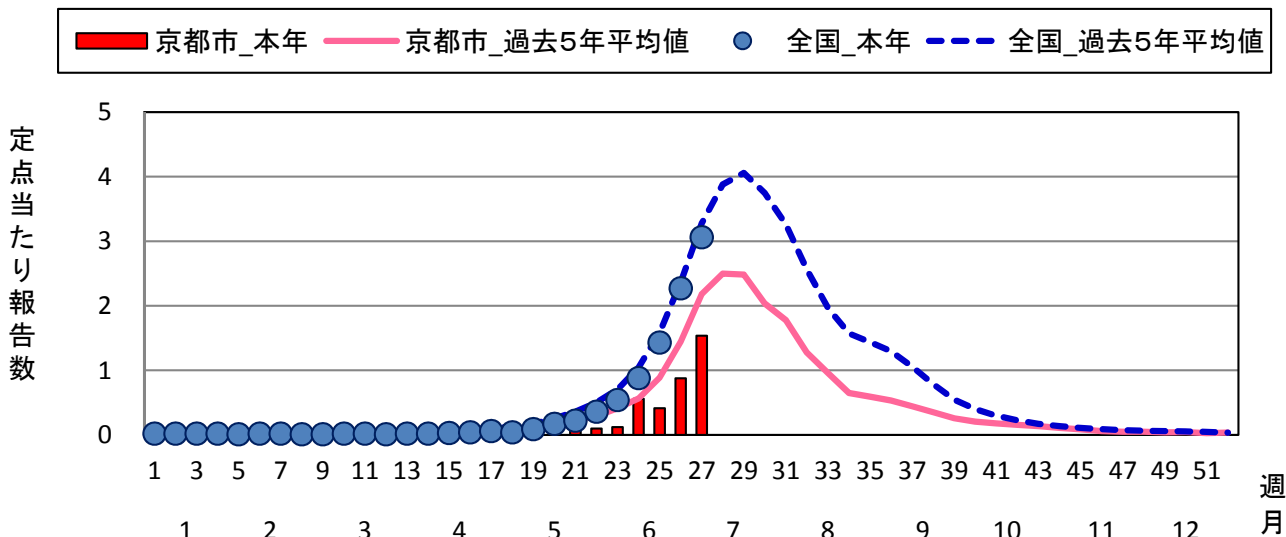
<眼科定点>



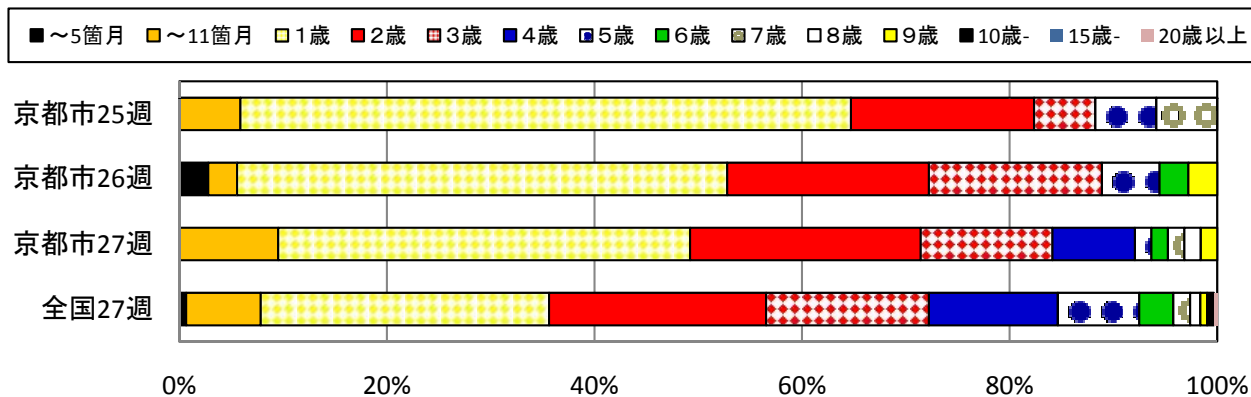
第27週(7月2日～7月8日)トピックス: <ヘルパンギーナ>

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は1.54と2週連続で増加しており、全国でも増加しています。年齢階級別にみると1歳が39.7%と最も多く、次いで2歳が22.2%で、4歳以下が92.1%を占めています。行政区別にみると、定点当たり報告数は山科区が最も多く、次いで、伏見区が多くなっています。

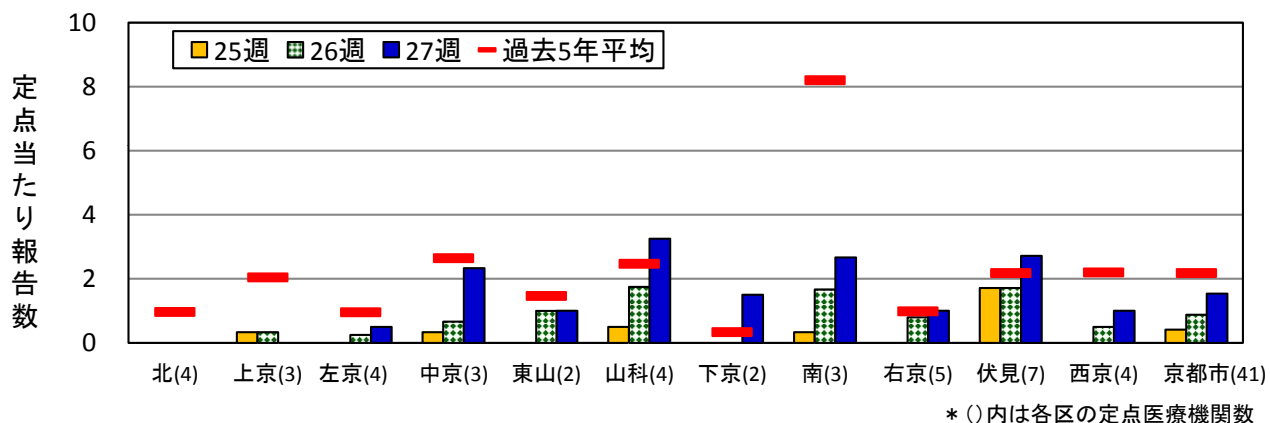
本市及び全国の定点当たり報告数の推移



定点当たり報告数の年齢階級別比率の推移



行政区別定点当たり報告数の推移



* ()内は各区の定点医療機関数